

たすけあい まなびあい つくりあげる玉津の子

# 出 会 い の 森

玉津小学校便り No.7

(令和2年10月5日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

最高の演技をめざして ～輝け！玉津っ子！ 主役は君たちだ！～

校長 坂元 裕則

朝夕めっきり涼しくなり、日ごとに秋の気配を感じる季節となりました。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、子どもたちへの心身の健康維持と励ましを続けていただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、子どもたちはコロナ禍の中において新しい生活様式と向き合いながら、明るく元気に学校生活を過ごすことができています。



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの学校行事が延期や変更、中止となっています。10月14日開催の運動会においても規模を縮小し、団体演技による“体育学習発表会”という形式で行うこととなりました。当日の発表は、低学年、中学年、高学年ごとに発表します。授業で団体演技練習に取り組む子どもたちの姿を見てみると、ひとつひとつの演技に動作だけでなく心を込めて表現しているところに感心しました。一人ひとりの輝きが全員の大きな輝きとなるところが、団体演技の素晴らしさでしょう。どのような演技となるか今から期待が高まりますが、子どもたちには数分間の演技の中で自分のすべての力を発揮し、仲間と協力し合い「やった！できた！」と思えるほどの“達成感”を味わってほしいと願っています。

私が守山南中学校に勤務していたときの話です。守山南中学校は生徒数が千人を超える大規模校で、毎年、毎年の体育大会において全校生徒全員による団体演技に挑戦していました。私を含めて8人の体育科教員が中心となり、全教職員でこのビッグイベントをサポートします。演技は三部構成で“静かさと強さ” “華やかさ” “壮大さ”とそれぞれに各テーマを設定し、隊形や動きを変化させていきます。最後のフィナーレで完成した瞬間の感動は今でも忘れることはありません。

ある年、こんな出来事が起こりました。最後のフィナーレ演技が崩れて完成しなかったのです。練習で一度も崩すことがなかったので、生徒たちのショックも大きかったと思います。エンディング曲が終わり、全員が起立をして、生徒会長のあいさつが始まりました。悔し涙で言葉が出ません。数秒後、「もう一度、私たちにチャンスをください。このままでは悔いが残ります。フィナーレ演技、もう一度お願いします！」と大声で大観衆に向かって叫んだのです。生徒たちは「もう1回や！よっし！やるぞ！」と言わんばかりにすぐに隊形を整えました。会場からは後押しするかのように大きな拍手が響いています。エンディング曲が流れ、フィナーレ演技が再び始まりました。そして・・・演技は見事に成功！生徒たちの涙、笑顔、ガッツポーズ、いつまでも鳴りやまない拍手・・・。

「主役は子どもたち自身である」。子どもたちの心意気が演技を創る。今度の体育学習発表会では、どの学年も自分たちの演技に誇りを持って、最後まであきらめずに最高の姿を見せてほしい。君たちならできる。玉津の子どもたちが輝くことを願っています。



## 生活見直し週間（9月）の結果から〔6月との比較〕

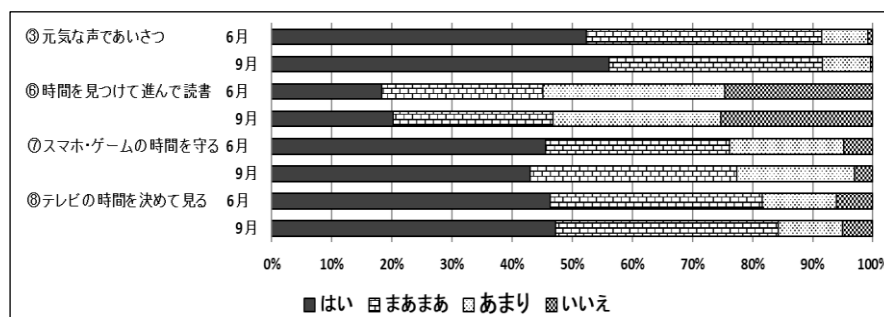
生活習慣見直し週間の取組へのご協力ありがとうございました。

子どもたちの朝のあいさつの声が、よく聞かれるようになってきています。登下校途上におられる地域の方々からも、「いってらっ

しゃい」や「お帰り」など親しく声をかけていただいています。こうした方への「こんにちは」や「ただいま」などのあいさつもさらに広げていきたいと思ひます。

また、「⑥読書」「⑦スマホ・ゲーム」「⑧テレビ」については、いずれも「はい」と「まあまあ」を合わせた人数の割合が少しずつですが6月より増えています。

各家庭においても、引き続き子どもたちへの意識づけをお願いします。



## 防災学習・引き渡し訓練

9月30日（水）に地震を想定した訓練、防災学習、引き渡し訓練を行いました。引き渡し訓練にご参加いただき、ありがとうございました。

防災訓練・防災学習では、大きな揺れを感じたら、あわてず机の下にもぐり、机の脚をつかんでおくことを確認し、緊急地震速報を合図に身を守る訓練を行いました。その後、低学年と中・高学年にわけて、ビデオ視聴を通して、地震の被害、様々な場所での地震発生時の対処の仕方、日ごろの心構えなどについて学習しました。

また、登下校のときに地震が発生した場合の対応についても確認しました。本校では、登校前や登下校時に地震が発生した場合の対応について、次のようにお願いします。



日赤奉仕団の皆様により製作していただいた「防災頭巾」をかぶって訓練する1年生

### 【登校前】

各ご家庭で通学路の安全等を確認してください。信号消灯、通学路の破損等、安全が確保できない場合は、自宅で待機させてください。地区で相談し登校と判断された場合は、PTA地区委員さん他、可能な限り保護者の方の引率をお願いします。

### 【登校中】

近くの安全な場所に一時避難します。児童は自宅か学校のどちらか近い場所へ向かいます（原則は学校です）。学校から教職員も見回ります。SOSホームや近隣の方への協力要請は地域からもお願いします。

### 【下校中】

近くの安全な場所に避難し下校します。（明らかに学校が近い場合は、学校に戻ります。）

学習の最後に、3年以上の児童に地震への心構えについてアンケートを行いました。〔一部〕

通学路や遊び場などで、大地震の時に建物が倒れたり頭上から物が落ちたりしないかと気にかけることがありますか？	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
	14人 (10%)	28人 (28%)	61人 (42%)	29人 (20%)
大地震で家の人と出会えなくなった時、家の人と出会う場所を決めていますか？	決めている	決めたが忘れた	決めていない	
	25人 (17%)	7人 (5%)	112人 (78%)	

各家庭では、家具の固定、非常食や飲料水の準備など災害への備えを考えておられることと思ひます。お子さんと話したり確認したりする機会を設けていただくと、子どもたちの防災への意識もより高まるものと思ひます。また、災害発生時や災害が予想される場合に利用できる近くの避難所の確認もお願いします。